

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 2 2 年 6 月
小樽商科大学

目 次

資料 1	専攻間における授業科目の履修に関する要項	1
資料 2	専攻間における単位互換実績（平成21年度）	1
資料 3	教職員と学生の連携による新入生支援	2
資料 4	国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況 .	3
資料 5	附属図書館の学外者利用実績	4
資料 6	市民向け図書貸出サービス	4
資料 7	「修学室」の設置による交流機会の確保と充実	5
資料 8	チューターのフォローアップ体制強化	5
資料 9	就職率の推移	6
資料10	学生団体（CDP）との連携によるキャリア支援	6
資料11	同窓会との連携による就職支援活動	6
資料12	学生団体（CDP）活動にかかる新聞報道	7
資料13	学生の声の収集と業務等改善の取組	8
資料14	保護者との連携による学生支援	9
資料15	「JICA」留学セミナー 小樽の産学官を学ぶ	10
資料16	国際開発協力セミナー実施概要	11

■ 専攻間における授業科目の履修に関する要項

【資料1】

学内規程

小樽商科大学大学院商学研究科の専攻間における授業科目の履修に関する要項

(目的)

第1 この要項は、小樽商科大学大学院商学研究科履修細則第13条第3項に基づき、現代商学専攻博士前期課程とアントレプレナーシップ専攻の協議により教育上有益と認められる場合に、学生が当該専攻間において他の専攻における授業科目を履修することに関する必要な事項を定める。

(授業科目)

第2 各専攻が提供する授業科目は、次に掲げるものとする。

(1) 現代商学専攻博士前期課程

科目区分「アカデミック・トレーニング科目(研究方法論を除く)、基本科目、発展科目」における現代商学専攻教務委員会が提供を承認した授業科目

(2) アントレプレナーシップ専攻

科目区分「基礎科目、発展科目」におけるアントレプレナーシップ専攻教務委員会が提供を承認した授業科目

(履修の時期)

第3 履修の時期は、現代商学専攻の学生にあつては1年次後期からとし、アントレプレナーシップ専攻の学生は2年次前期からとする。

(履修手続き)

第4 授業科目の履修の手続きは、別に定める。

(単位)

第5 当該専攻の学生が、他の専攻の授業科目を履修し、修了所要単位に算入できる単位は4単位以内とし、当該修得単位数は、大学院学則第10条第1項及び第21条第1項に定める他の大学院における授業科目の履修等の単位数に含めるものとする。

(授業の実施形態)

第6 この要項による授業は、当該専攻の実施形態により行う。ただし、授業担当教員が認める場合は、必要に応じて変更することができる。

(その他)

第7 この要項に定めるもののほか、専攻間における授業科目の履修に関しては、現代商学専攻教務委員会及びアントレプレナーシップ専攻教務委員会の協議により定める。

附 則

この要項は、平成21年2月12日から施行する。

(出典：本学ホームページ)

■ 専攻間における単位互換実績(平成21年度)

【資料2】

研究型大学院における専門職大学院科目履修			
	科目名	単位数	開講時期
学生A	予算管理と業績評価	2単位	後期
	顧客志向経営	2単位	後期
学生B	予算管理と業績評価	2単位	後期
	戦略的ファイナンス	2単位	後期
学生C	経営戦略とイノベーション	2単位	後期

専門職大学院における研究型大学院科目履修			
	科目名	単位数	開講時期
学生D	組織情報論Ⅱ	2単位	前期
学生E	金融経済学	2単位	前期

(出典：学務課資料)

教職員と学生の連携による新入生支援

平成 21 年度の取組例

■ 平成 21 年 3 月 12 日～13 日

学生による商大説明会「行列のできる商大相談所」

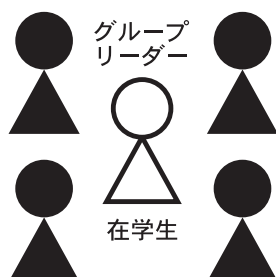


入学前（入学手続期間）に，大学生生活の不安解消や様々な手続きに関するサポートを行うため，新入生と保護者を対象に開催。大学生生活，授業等について，学生団体編集冊子，パワーポイント，ビデオ等で紹介した。



■ 平成 21 年 4 月 2 日

学生による商大説明会「よろず家」



入学式前に大学生生活のイメージ作り，学生間のネットワーク作りを目的として開催。パワーポイントによる大学生生活，授業の紹介のほか，在学生をグループリーダーとしたグループワーク，ブース形式による少人数相談会等を実施した。



■ 平成 21 年 4 月 6 日

教職員による新入生オリエンテーション



シラバス及び学園生活の手びきに基づき，学園生活，履修方法等について教職員が説明する講義型オリエンテーションを実施した。また，履修登録，定期試験，学科所属等の修学にかかる年間スケジュールを記載した，オリジナルのスケジュール帳を事務職員有志を中心に編集・作成し，新入生全員に配布した。

■ 平成 21 年 4 月 6～7 日

学生による「履修相談会」



教職員によるオリエンテーション終了後，学生目線による履修制度，授業の選び方についてパワーポイントで紹介。また，実際に新入生に時間割を試作してもらい，個別アドバイスをを行った。



国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況

※ ここにあげる取組については、国立大学法人評価委員会が把握した各国立大学法人等（90 法人）の特色ある例をまとめたものであり、全法人が一律に行わなければならないと考えているものではない。

各法人においては、特色を活かし、様々な取組を行っているところであり、過去に取り上げた取組については、具体的取組の一例を幅広く紹介する趣旨から基本的には取り上げないこととしている。

【中 略】

IV. 教育・研究の活性化に向けた取組

これまでに引き続き、各法人において、法人化のメリットを活かし、教育方法等の改善・充実や研究活動の活性化に向けた取組等が行われているほか、全国共同利用を通じた学術研究の推進や附属病院、附属学校における機能充実のための様々な取組が行われている。

教育方法等の改善

1. 指導方法等の改善・充実に向けた取組

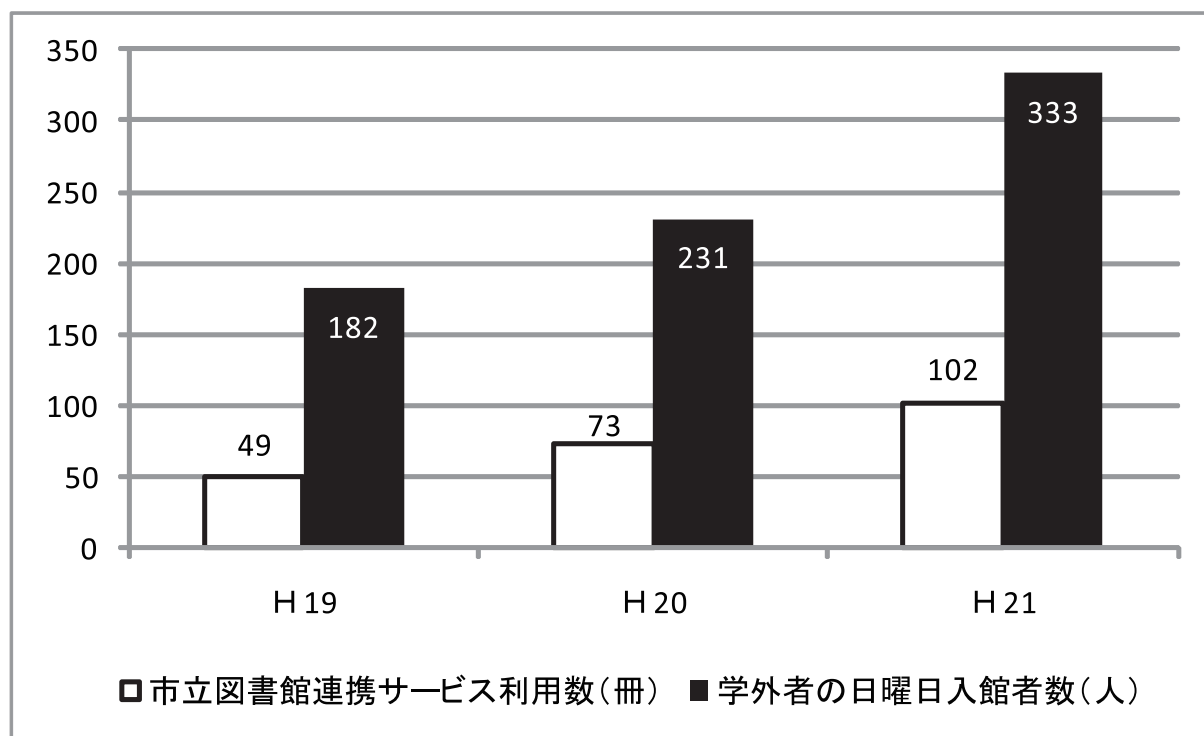
（具体的取組例）

- 「履修指導員」制度の効果的な運用を図り、過去の履修指導の結果についてデータを蓄積するとともに、各教員が閲覧できるよう整備し、教員間の連携が可能となるなど改善に取り組んでいる。【小樽商科大学】
- 数学力の不足する新入生にマンツーマンで大学院生のティーチング・アシスタント（TA）を配置し、数学リテラシー教育を実施しているほか、語学（英語）教育では効果的な指導を行う目的で、習熟度別クラス分けについて検討し、平成21年度から実施することを決定するなど、指導方法改善に向けた取組が行われている。【北見工業大学】
- 幅広いリベラル・アーツ教育の効果を確実に高めるために、初年次教育プログラムの拡充に取り組み、駒場Ⅰキャンパス（教養学部）に初年次活動センターを設置し、サイエンスカフェ、相談事業、初年次活動に関する授業、教職員と学生との昼食会等の新しいプログラムを積極的に展開している。【東京大学】
- 学部1年次に副専攻希望調査を実施し、履修抽選における配慮、共通教養副専攻科目の新設、副専攻科目「原子力・エネルギー安全工学」等の新設により副専攻制度の充実を図っている。【福井大学】
- 「地域連携学校教育のできる教員養成」等の大学教育改革取組支援プログラム（GP）の取組を通じて、学士課程教育の充実と大学院教育との接続をテーマに、教育内容、方法の改善に努めている。【大阪教育大学】
- 高校での未履修科目への対応や学生の多様なニーズに応えるため、学長裁量経費による「放送大学を活用した共通（教養）教育改善プログラム」を組織的に推進している。【山口大学】

（出典：国立大学法人評価委員会資料）

■ 附属図書館の学外者利用実績

【資料５】



(出典：附属図書館資料)

■ 市民向け図書貸出サービス

【資料６】

小樽市民のみなさまへ **小樽商科大学**

駅前フラザ図書貸出サービス

市民利用者 (学外利用登録者) → 貸出 → 小樽商科大学 駅前プラザ → 小樽商科大学 附属図書館 → 無料です。

商大駅前プラザで商大図書館の本が借りられます。 3冊、16日以内

★ 小樽商科大学駅前プラザ★

◆所在地：小樽市稲穂3丁目3番1号
(小樽グリーンホテル別館内)

◆利用時間：火曜日～土曜日(祝日含む)
13:00～19:30

◆サービスを受けられる方：

○小樽市(近郊含む)在住または通勤・通学の方。

◆サービス内容：

① 利用者IDカード(貸出券)の発行申込み
※ 身分証明書・運転免許書など、氏名・住所が
確認できるものをお持ちください。

② 商大図書館所蔵圖書の「貸出(予約)・返却」

小樽商科大学附属図書館全景

<駅前プラザ図書貸出サービスのお問い合わせ先> 附属図書館ホームページURL: <http://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/>

小樽商科大学附属図書館 月～金曜 8:45～22:00(※)、土曜 10:00～19:30(※)、日曜・祝日 10:00～17:00

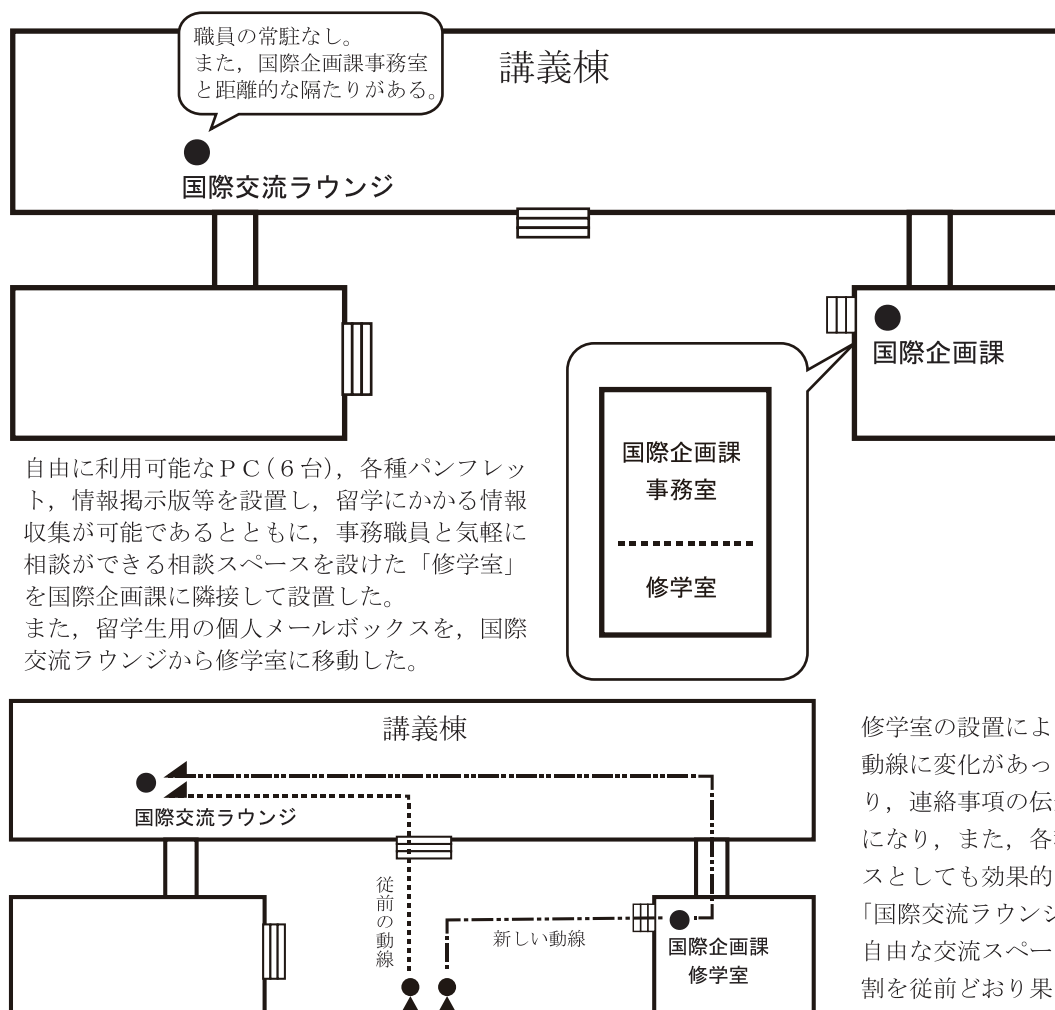
電話：0134-27-5273 FAX：0134-27-5278 メール：lib-unyo@office.otaru-uc.ac.jp (※ 休業期間は、17:00閉館)

小樽商科大学駅前プラザ 火～土曜(祝日含む) 13:00～19:30 電話&FAX：0134-32-4624

(出典：附属図書館ホームページ)

■ 「修学室」の設置による交流機会の確保と充実

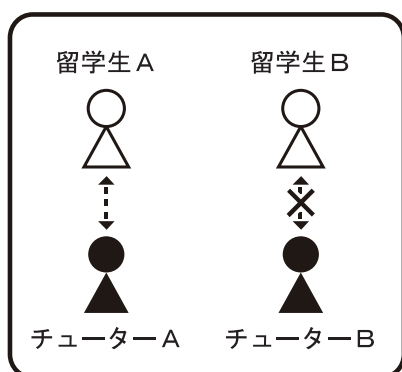
【資料7】



■ チューターのフォローアップ体制強化

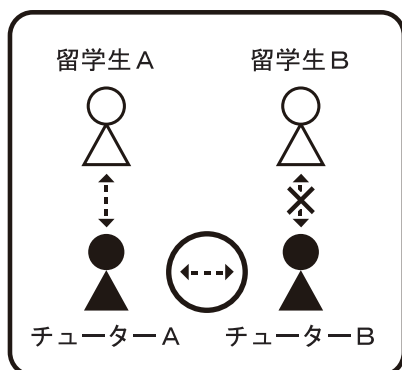
【資料8】

【図1】



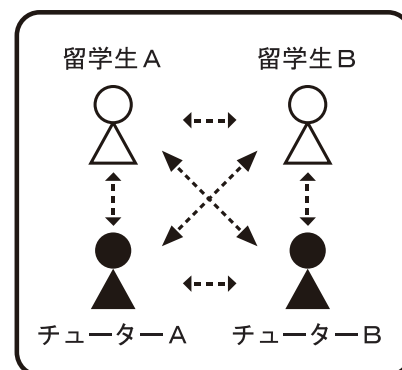
留学生向けのオリエンテーションや留学生の交流を促進する取組など、留学生を「直接」サポートする取組は従前から積極的に実施していたが、チューター同士の交流を促進する取組など、チューターをサポートする体制が未整備であったため、例えば、留学生BとチューターBの関係が思わしくない場合、チューターBに対するフォローアップが十分に行われていなかった。(図1)

【図2】



チューターサポート体制の整備にあたり、チューター同士のコミュニケーション強化に着目し(図2)、チューター向けオリエンテーションの実施、留学相談及び交流スペースである「修学室」の活用など、チューター同士の情報交換や連携を積極的に実施した結果、チューター同士のみならず、図3に示したような交流(特に留学生と、直接担当以外のチューター間交流)が実現するとともに、留学生及びチューター間に良好な関係が構築された。

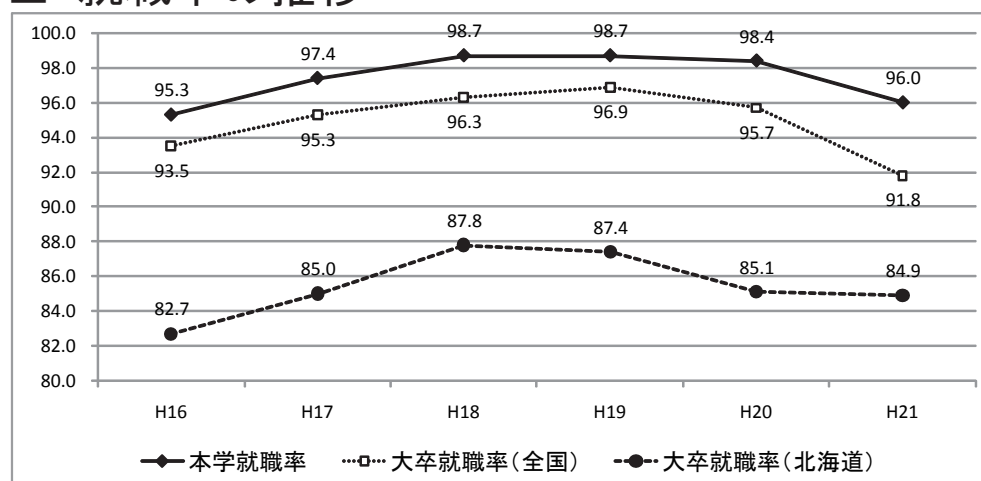
【図3】



(出典：国際企画課資料)

■ 就職率の推移

【資料9】



(出典)
 本学：キャリア支援課
 全国：厚生労働省
 北海道：北海道労働局

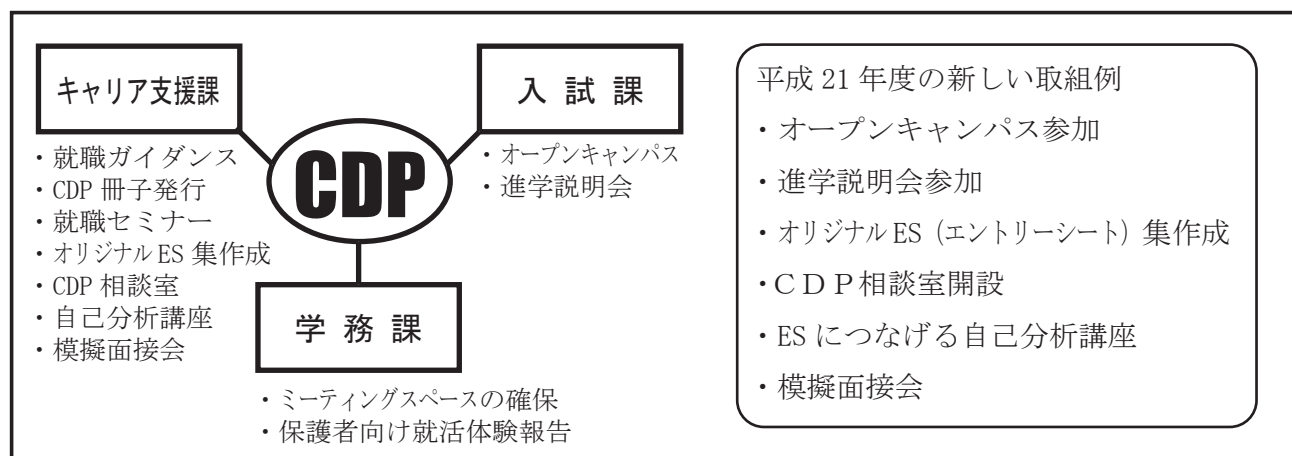
■ 学生団体（CDP）との連携によるキャリア支援

【資料10】

【キャリアデザインプロジェクト（CDP）について】

就職活動を終えた4年生で組織される就職支援プロジェクト。

これまでは、構成員の個人的つながりで就職にかかるアドバイスを行う、学生の自主的な活動が中心であったが、平成21年度は大学との連携により、3年生全員を対象とした大規模な活動を展開した。

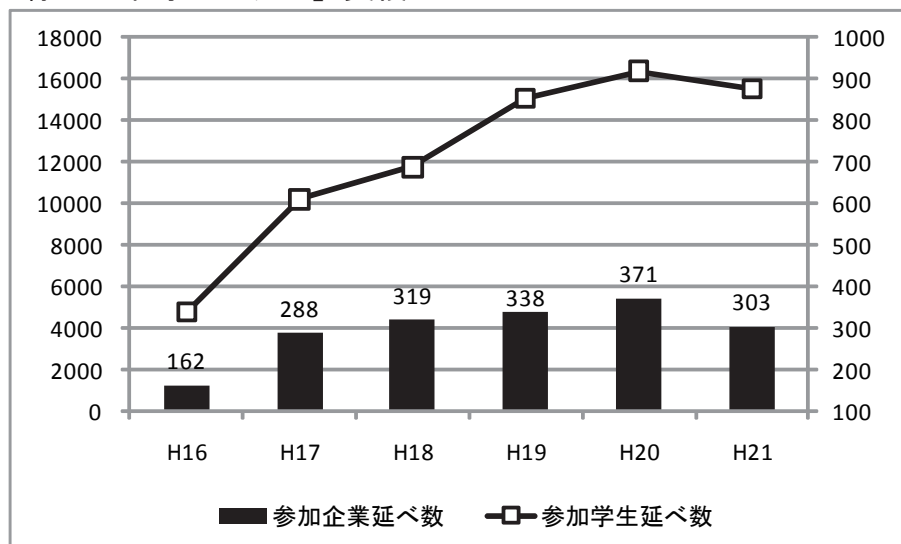


(出典：キャリア支援課資料，CDP活動報告書)

■ 同窓会との連携による就職支援活動

【資料11】

「緑丘企業等セミナー」実績

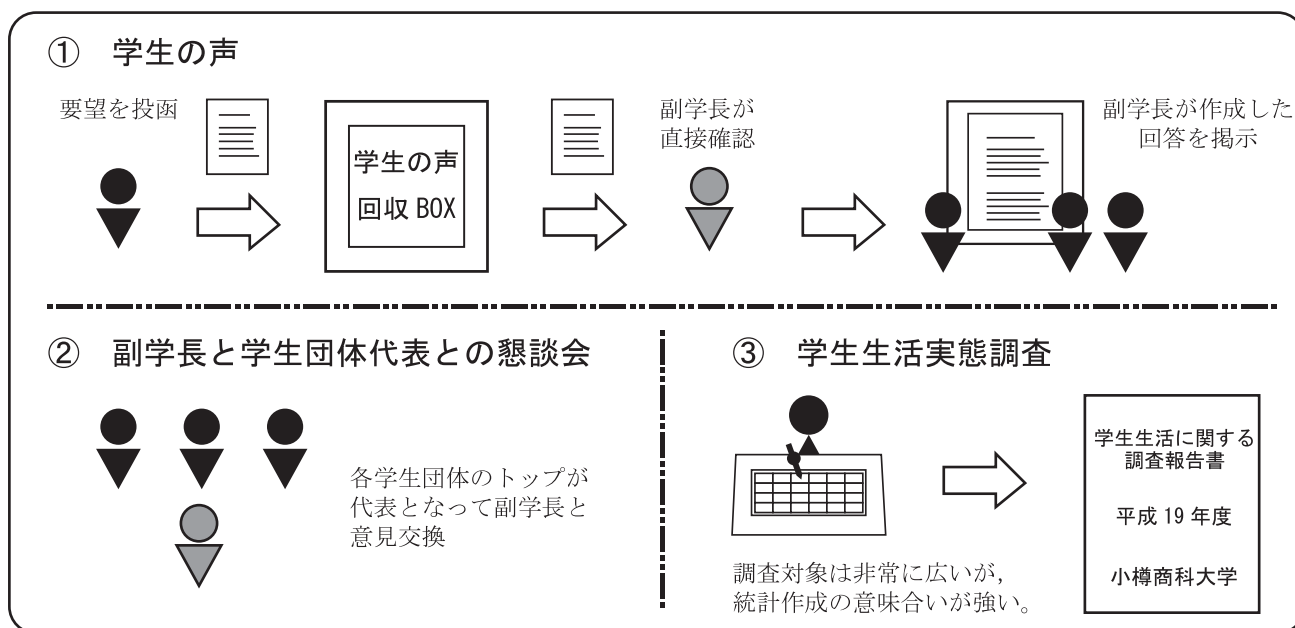


※ 不況に伴う企業の新卒採用停止等の影響により、平成21年度の参加企業数は大きく減少したが、学生の参加は高い数値を維持している。

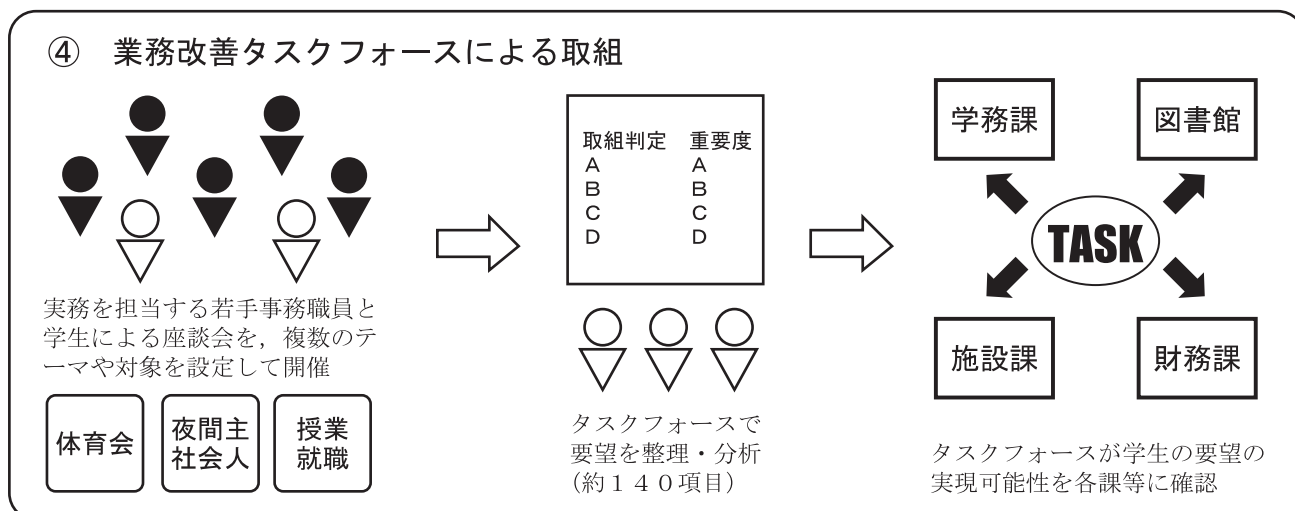
(出典：キャリア支援課資料)

7

■ 学生の声の収集と業務等改善の取組



【新しい取組】(H20～)



学生の声	担当	取組判定	重要度	調査結果と改善可能性	実現可能性
熱中症対策に製氷器が欲しい(冷蔵庫の充実)	学務課	A	A	予算次第。現在は熱中症対策用氷は、合宿所で製氷している。	△
合宿所に清潔感がない。	学務課	B	A	私物を廊下に置きっぱなしなどのおかげで、業者が清掃するスペースが小さくなることは不潔になる原因となっている。学生のマナー次第で改善可能。	○
部活に対して、追試等のフォローがなすすぎる。	学務課	B	B	現在は、学則上追試は行わない。教員によっては、救済している方もいる。追試制度の検討？	△
授業のカリキュラムがわかりづらい。	学務課	B	B	Q&Aの掲示、HP掲載、履修指導教員、オリエンテーション等で説明しているが、今後その他対策が必要かもしれない。	○
担当者がいないときでも窓口対応できるようにしてほしい。	学務課	B	A	現在、専門的な相談以外は対応できるように改善中。	○
電光掲示板が欲しい	学務課	C	C	情報処理センターに設置中。予算の問題。	△
食堂の営業時間を7時25分までにしてほしい。	生協	C	B	11時から、夜間営業を試験的に15時～18時半にする予定であり、その動向を見たい！	○
寮があったらよい。	財務課？	C	C	検討中	△
5号館にエレベーターが欲しい。階段が狭くて非常に危険。	施設課	C	C	長期的に検討する予定	△
就職課に入りにくい。職員の就職に関する知識が少ない。	就職課	A, C	A	飲み物の無料提供やFMを流している。就職担当者向けのセミナー等への参加を続ける。	△
合宿所に車を停めたい。	財務課	C	C	1台程度の駐車スペースはあるが、火災等緊急時の駐車スペースが無くなるため、駐車場とはしていない。なお、停車は許可している。	×

(出典：業務改善タスクフォース資料)

※ ①～④の取組により、学生の声が反映された改善例として、「合宿所の新設」、「製氷機の設置」、「学生の昼休みに合わせた窓口時間の変更」、「休講情報のweb掲載」等がある。

■ 保護者との連携による学生支援

【資料14】

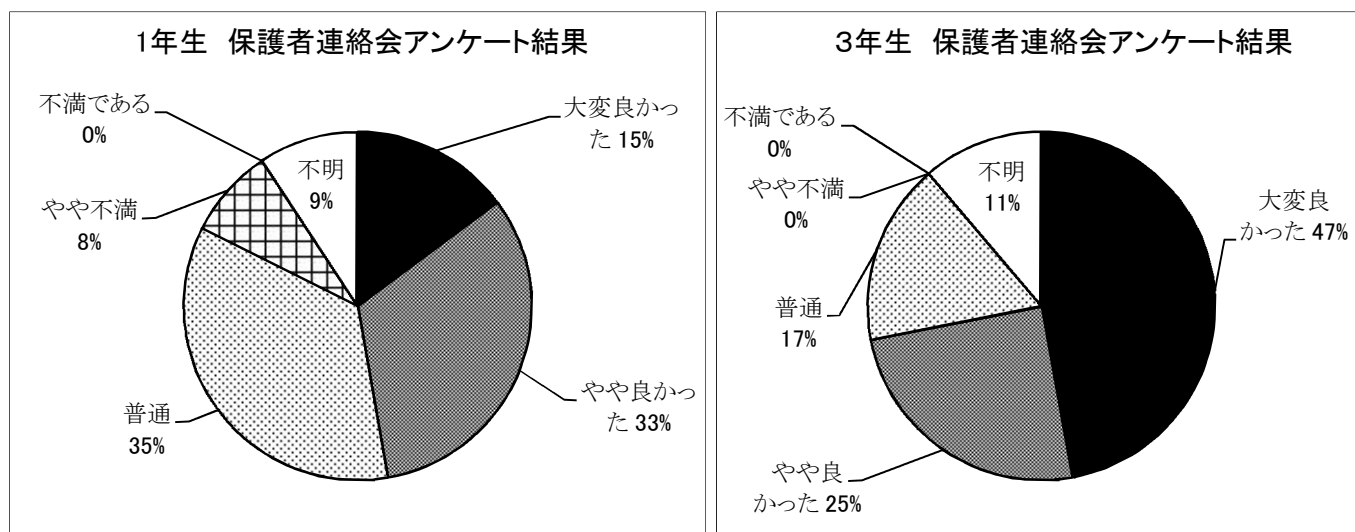
平成21年度「保護者連絡会」開催結果

○ 参加者数

1年生保護者 120名（H20年度 129名）

3年生保護者 111名（H20年度 154名）

○ 保護者連絡会の内容について



○ 保護者連絡会アンケート自由記述欄より（1年生保護者）

- ・ 4年間の学生生活への不安が実際学校へ出向き色々説明受けたり、情報を得ることで大分解消されました。保護者として気をつけることや注意したいことも多くありました。ありがとうございました。
- ・ 学生消費相談は、親もとてもためになりました。
- ・ 多くの方が来られる事に驚きました。大学に入ってから保護者会があると思いませんでしたので。
- ・ 入学した時にも話は少し聞いておりましたが、入学し少しおちついた頃にこのような保護者会を行われるとじっくり聞くことが出来とても解りやすく良いと思います。出来れば毎年、各学年で行ってほしいです。
- ・ 大学の皆様の御配慮に感謝申し上げます。このような機会がありましたらまた参加したいと思います。
- ・ 学生消費相談の内容については、必ず学生に講義してほしい。
- ・ 1年男子の母親です。子供からは全く学内の情報は入らないので参加させていただきました。学校、校舎内の見学もさせていただけたらよかったと思います。
- ・ 意見交換会で具体的な回答が得られたのが良かった。
- ・ 1年次生の親ですが、出来れば毎年開催して頂き、参加したいと思います。商大と一緒に子供の成長を見守り、導いていきたいです。各年次合同の質疑応答の時間があれば、先の心配事が見えて良いかも知れません。

○ 保護者連絡会アンケート自由記述欄より（3年生保護者）

- ・ マイナビの説明は大変助かりました。やはり時代が変わっていると思いました。又、〇〇氏の話も大変有意義で家族と帰ってから話し合いたいと思います。
- ・ 学生さんの就活体験談は、具体的にとても参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 〇〇氏の体験談は親の子への関わりを勉強させて頂きました。ありがとうございます。
- ・ 色々不安に思っていたのですが、とても心強く参考になりました。
- ・ 今まで親子ともども就活について、漠然としかわからず わからないゆえに不安やあせりがありました。少し流れなどがわかり、子供と一緒に頑張っていこうと思いました。
- ・ お話して下さったみなさんのお話がとてもためになりました。聞いてよかったです。ぱく然とした不安が少し解消されました。どの話も本当に良かった。
- ・ 3年生の息子がいます。今日とても良いお話を伺いました。学長、副学長さんと息子達がこのような機会が行われていたら気も引き締まる感じがしました。
- ・ とても良かったと思います。特にCDPの説明がわかりやすく勉強になった。※3年生で就活が勝負であることがわかった。
- ・ アドバイザーのお話はとても良かったです。この様な機会でも、ポイントがわかっていると不安解消にもなり良い結果も出ると思います。ありがとうございました。
- ・ 参加してとても良かったです。内容はもちろん、学長さんなどのお話から（お人柄もわかり）「大学」がよく見えました。ありがとうございました。

（出典：保護者連絡会アンケート集計結果）



「JICA」留学セミナー 小樽の産学官を学ぶ (2009/02/25)



独立行政法人国際協力機構「JICA」の留学セミナーが、2月25日(水)から3月2日(月)まで、小樽市内で行われている。

「JICA」は、開発途上国の社会・経済の開発を支援するため、様々な活動を行っている。25日(水)から始まった留学生セミナーは、今年で4回目。長期研修員制度や留学生支援無償制度などで、日本の大学に留学する外国人学生に対して実施している。

今年は、東京工業大学や京都大学、早稲田大学、一橋大学などに留学するベトナムやガーナ、カンボジア、フィリピンの留学生9人が参加。産学官連携地域振興をテーマに、市内企業の訪問・視察を行い、小樽市と包括連携協定を結ぶ小樽商科大学の関係者や経済人と懇談する。

初日の25日(水)は、小樽商大関係者や市産業港湾部職員との意見交換、市長への表敬訪問を行った。

市職員との意見交換では、「小樽は140年前、ニシンを求めて本州から渡って来た人たちによって街が形成された。北海道の中心部で取れる石炭を小樽の港から出すということで、全国で3番目に鉄道が出来た」などと小樽の歴史を紹介され、留学生たちは、メモを取るなど熱心に聞き入っていた。

市長表敬訪問では、山田勝磨市長が「ぜひ、小樽の産学官の連携の様子を見てもらいたい」と期待を寄せた。

留学生たちは、この後、貴賓館(旧青山別邸)や運河周辺を視察。26日(木)から3月2日(月)まで、石狩東洋(株)や田中酒造、北海道ワインなどの企業を訪問する。

(出典：小樽ジャーナル 平成21年2月25日)

■ 国際開発協力セミナー実施概要

【資料 16】

2009 年は 2008 年度に引き続き国際協力活動及び国際協力機関への就職並びに国際公務員を志望する学生を対象に、随時相談に応じるとともに、ミニセミナー形式で解説を行った。2009 年度はこれらのことについて授業やゼミにおいて周知し、昼間コース（3 年生）及び夜間主コース（1，2 年生）を対象に 9 月と 11 月に 3 回の説明会を実施した。とくに 1，2 年生に対しては在学中に準備すること、3 年生に対しては国際公務員応募に際してのエントリーシート等への記入方法など応募に関する具体的な手順などを中心に過去の事例を用いて指導した。

- ・ **実施日時**
 - 9 月 14 日（月）（夜間主コース） 21:30～22:30
 - 9 月 16 日（水）（夜間主コース） 21:30～22:30
 - 11 月 19 日（木）（昼間コース） 17:00～18:30
- ・ **内容**
 - （国際協力機関について）
 1. 現在公的機関として国際協力活動を行っている日本の機関
 2. 例として JICA および（財）漁業協力財団（OFCF）が行っている国際協力活動の内容
 3. これらの機関が行っている活動への具体的な参加方法
 4. これらの機関が求める能力 1) 語学能力 2) 技術的能力
 5. 期間（短期・長期）
 6. 派遣先
 7. 給与額
 8. 募集時期
 - （国連機関）
 9. 国連機関と国際公務員の概略（UNESCO を例とした）
 - 1) 国際公務員の職制と内容
 - 2) 勤務先（国、地域）
 - 3) 求められる語学能力（国連機関の公用語）
 - 4) 求められる技術的能力
 - 5) 期間（短期・長期）
 - 6) 給与額
 - 7) 募集時期および応募方法
 - 8) エントリーシートへの記入方法
 - （その他）
 10. 小樽商科大学のカリキュラムからみて応募可能な国際協力機関と国連機関
 11. 卒業後に国際協力派遣や国際公務員を志望する場合に在学中に準備すること
- ・ **資料として示したもの**
 1. 「ICCAE news」（名古屋大学農学国際教育協力センター）
 2. 「海外漁業協力」（海外漁業協力財団）
 3. 国連機関の職員募集に関するホームページ一覧
 4. 国連機関の職員募集要項とエントリーシート
 5. 国連機関応募エントリーシートの記入事例
- ・ **国際協力機関及び国連職員応募に関する注意事項（抜粋）**
 1. 国際協力機関、国連機関とも国際協力や国際貢献に対する強い意志が求められるので、あらかじめ動機や目的を明確にしておくこと
 2. 語学能力が求められるので、英語力向上に常日頃努力すること。国際公務員志望の場合には英語以外の言語にも精通しておくことが望ましい
 3. 国連機関については修士以上能力が求められるので、大学院も視野にいれて準備をする必要がある
 4. 国際公務員志望はすべて欠員が生じた場合に公募により募集される。したがって常に公募状況に注意を払うとともに、長期的視野に立った準備が必要である（タイムスケジュール）
 5. 国際協力機関、国連機関とも応募に至るまでに実績も重視される。したがって、日本においては青年海外協力隊への参加なども有利な経歴となる
 6. 国際貢献の職場においては各自の専門分野での職種となる。したがって各自の得意分野や専門性を高めておくことが不可欠である
- **学生からの声**
 - ・ 昨年に引き続き参加しましたが、3 年生なので、エントリーシートの記入事例など、内容が具体的で良かったです。
 - ・ JICA に就職を目指すなら、大学院まで進学した方が有利だと初めて知りました。今後進学も視野に入れて、じっくり考えたいと思います。
 - ・ 夜間主コース向けに、夏季集中講義後にセミナーを設定してくれてよかった。

（出典：国際開発協力セミナー2009 実績報告書）